

会 議 録

(5-1)

会議の名称		第1回春日部市障害者計画等審議会	
開催日時		令和7年12月25日(木)	開 会
			閉 会
開催場所		春日部市役所2階 会議室203	
議長(会長等)氏名		小澤 昭彦	
出席者	委員氏名	(出席人数:15人) 会長 小澤 昭彦、副会長 松本 久男	
		山田 裕子、細井 道栄、飯澤 育世、佐藤 正幸、清水 雄幸、	
		羽鳥 一子、松村 真理子、篠江 正則、鈴木 敏仁、吉原 満、	
	高橋 由紀子、海野 洋子、吉田 久美子		
説明者 その他			
事務局	(出席人数:5人) 障がい者支援課長 染谷 学		
	障がい者支援担当主幹 榎本 雅明、相澤 寿昭		
	障がい者支援担当主査 清水 亜由美		
	障がい者支援担当主事 間中 彩稀		
次第及び公開・一部公開・非公開の区分		1 開会 2 あいさつ 3 議事録署名人の選任 4 議事 (1) 第7期春日部市障害福祉計画の達成状況について(報告)(公開) (2) 第10期春日部市自立支援協議会の再編について(公開) (3) 第5期春日部市障害者計画に係るアンケート調査について(公開) (4) その他 5 閉会	
一部公開・非公開の場合はその理由		<input type="checkbox"/> 要綱第3条第1号該当: <input type="checkbox"/> 要綱第3条第2号該当: <input type="checkbox"/> 要綱第3条第3号該当: <input type="checkbox"/> 要綱第3条第4号該当:	
配布資料		1 次第 2 資料1:第7期春日部市障害福祉計画の達成状況 3 資料2:第10期春日部市自立支援協議会委員構成 4 資料3:第5期春日部市障害者計画のアンケート調査実施概要 5 資料4:アンケート調査のサンプル数 6 資料5:アンケート様式案(障がい者用) 7 資料6:アンケート様式案(市民用) 8 資料7:アンケートWeb回答画面(イメージ) 9 資料8:アンケート意見提出用紙	
会議録の作成方法		<input type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録	
会議録署名の指定		清水 雄幸 委員	

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	【開会】
会 長	【会長あいさつ】
事務局	【会議成立の報告：委員18人中15人出席】
	【議長選任】
	春日部市障害者計画等審議会条例第5条第2項の規定に基づき、小澤
議 長	会長が議長となる。
	【議事録署名人の選任：清水 雄幸 委員】
	【会議公開の宣言】
	【傍聴人の有無について確認】
	【傍聴人：0人】
	【議事（1）第7期春日部市障害福祉計画の達成状況について（報告）】
	【事務局に説明を求める】
事務局	【資料1に基づき説明する】
議 長	【委員に意見及び質問等を求める】
委 員	目標値の設定に使われている、令和3年度の実績値に対して1.28倍とか
	1.31倍とか掛けられている数字は、何か根拠があるのか。
事務局	厚生労働省から提示された、国の障害福祉計画に則った数字である。
委 員	地域生活支援事業における見込み量の日常生活用具給付事業について、
	介護・訓練支援用具や自立生活支援用具とはどういったものが支給されたのか。
	また、車椅子等の補装具が載っていないようだが、載せなくていいのか。
事務局	補装具については、障害福祉計画に掲載する項目に含まれていないので
	載せていない。
	日常生活用具について、具体的に何を給付したのかはここには資料が
	ないため、すぐに回答できないが、給付できる対象として、介護・訓練支援
	用具だと、特殊寝台や特殊マットなどが、自立生活支援用具だと、入浴補助
	用具などが挙げられる。
委 員	リフトなどか。
事務局	そこまでの規模のものではなく、座るための椅子であったり、シャワーチェア
	などである。
委 員	件数が少ないのではないかと感じた。
事務局	先ほど話題に上がった、補装具ですとか、介護保険からも生活面に関する
	用具が貸与されるなど、別の制度を使う場合もあるため、障害者支援法での
	日常生活用具としては、利用が少なくなっている。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委 員	わかりました。
委 員	就労定着支援の見込み量について、2か月前に始まったサービスなので試算が
	追いついていないところがあるのだろうが、実情はもう少し上がってくる
	だろうから、実情に即した数値を入れたほうがいいのではないか。
議 長	見込み量に変更できるのか。
事務局	現在の見込み量は、去年の段階で作ったものであり、そこから変更をかけて
	いない。
議 長	委員の意見を踏まえて検討していくというのでよいか。
事務局	はい。
	【他に意見及び質問等はなく次の議題に進む】
議 長	【議事（2）第10期春日部市自立支援協議会の再編について】
	【事務局に説明を求める】
事務局	【資料2に基づき説明する】
事務局	自立支援協議会と計画等審議会の関係については、第7期春日部市障害福祉
	計画の77ページの図を参考にさせていただきたい。自立支援協議会がニーズや
	現状把握等をして、市に意見を出す場であり、市は案を作って審議会で説明
	を行い、審議会から市長へ答申をしていただくという流れになっている。
委 員	自立支援協議会の全体会は、差別解消支援地域協議会を兼ねていると
	いうことでよいのか。
事務局	そのとおりです。
議 長	質問のあった差別解消支援地域協議会とは、障害者差別解消法による
	何らかのトラブルや訴えがあった際の問題を協議する場、ということ
	でよかったか。
事務局	そうです。ただ、この協議会で個別の方のケース会議を開くものでは
	ありません。
委 員	組織図にプロジェクトチームが5つ書かれているが、これはもう活動
	しているのか。
事務局	実際に発足しており、進捗状況はプロジェクトチームにより異なる。
	少数のメンバーでこれから発展をしていくものもあれば、少し人数
	多めにお集まりいただいて、情報分析に入っているものもある。
委 員	プロジェクトチームの情報は、運営委員会のほうで共有されているのか。
事務局	そうです。
委 員	プロジェクトチームの進捗状況等は、どこか全体的に確認できる場所は
	あるのか。
事務局	自立支援協議会の審議の流れとしては、プロジェクトチームで情報分析
	したものを、運営委員会で方向性を定めて、実際の取組について全体会で

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	承認をいただく、という流れを想定している。 全体会で承認いただいて、春日部市としてこのような体制をやって いきたいと思います。組織図の右側にある定例会（報告会）で、 事業者や関係者をお呼びして、一緒にご協力ください、といった アナウンスをするような説明会を行うイメージである。
委 員 事務局	議事録などはネットに公開されるのか。 今会議している障害者計画等審議会は附属機関のため、会議の公開が 義務付けられているが、自立支援協議会のプロジェクトチームは 関係者の方が集まる場、という位置づけである。 そのため、先ほど話したように皆様にお知らせする必要がある部分に ついては、説明会をしたり必要な資料を配っていく。 皆様に私的に集まっていただき、自由に協議していく場であるため、 会議録を公開してしまうと自由な意見を阻害してしまう場合がある ので、今のところ会議録の公開については決まっていない。
委 員	自立支援協議会の活動について、どんな取り組みをしているのか、 個別の記録ではなくとも、進捗や、年に何回集まっているとか、 どんなことを検討しているのかといった、活動自体の記録を 残したほうがいいのではないかと。
事務局	何が話し合われたか、どんな意見があったのか等の記録残している。 しかし、それをホームページ上で一般に公開しているわけではない。 必要なものについては、市内の事業者・関係者等に情報共有させていただく。
委 員	春日部市の自立支援協議会として活動している、という情報が公開される ことで、活動する人のやる気になったり、他市から春日部市がどういった 活動をしているかがわかったりと刺激になるので、大切なのではと思った。
議 長	では、ほかの自治体の状況も勘案したうえで、対応について検討する ということによいでしょうか。
事務局 委 員	自立支援協議会の運営委員会や全体会で検討を依頼させていただく。 以前の自立支援協議会にあった部会がプロジェクトチームになった ことによって、事業所が集まる場所がなくなったように見えた。 ほかの事業所からも、今後の集まりについて聞かれることがあるので、 運営委員会で話してもらえたらと思う。
事務局	自立支援協議会に関する話なので簡単に申しますと、プロジェクトチーム 自体は10月の自立支援協議会再編から発足しており、チームによっては どのような組織体で進めていくかという調整をしている段階のものもある。 今後について、どのように広げていくのかは検討させていただくところか とと思っている。目標としているのは、春日部市の地域の福祉に関する

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	連携強化、課題解決なので、目指すべきところは事業者の皆様も同じ方向性と認識している。そこは自立支援協議会内でも調整検討させていただきたいと思う。
	【他に意見及び質問等はなく次の議題に進む】
議 長	【議事（3）第5期春日部市障害者計画に係るアンケート調査について】
	【事務局に説明を求める】
事務局	【資料3から7に基づき説明する】
議 長	【アンケートの実施について異議がないかを確認する】
委 員	【承認】
事務局	【資料8に基づき、質疑応答を行う】
議 長	【委員にそのほかの意見及び質問等がないか確認する】
委 員	アンケートの発送数について、障がい者の総数に対する割合はどうなっているのか。
事務局	資料4に記載されているとおり、障害種別の手帳所持者に対し、予想回収率を46%、統計に必要とされるサンプル数は信頼水準を95%として、発送数を計算している。
委 員	毎回同じ方に送付することはあるのか。
事務局	無作為抽出なので、何とも言えない。もしかしたら、前回も回答したという方に送ることもあるかもしれないが、故意ではない。
議 長	アンケートについて受けた指摘について、この場で詳細な文言が浮かばなかったものについては、会長・副会長に一任いただいて、事務局と検討するということよろしいでしょうか。
委 員	【承認】
	【他に意見及び質問等はなく次の議題に進む】
議 長	【議事（4）その他について】
事務局	今お集まりいただいている委員の皆様は、令和8年6月までの任期となっている。
	来年度の委員について、改めて4月から5月にかけて選出依頼を出すので、
	対応いただくようお願いします。
	【他に意見・情報共有などはなく終了】
事務局	【閉会】

議事の顛末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和8年 2月 5日

署名者の職・氏名

春日部市障害者計画等審議会委員

清水 雄幸